

はじめに

技術研究所 所長 八ツ繁 公一

今年の夏は、日本全国が猛暑に包まれ、各地で最高気温が更新されました。クールビズを飛び越して熱中症のニュースが流れ、地球温暖化の警鐘は年を追うごとに強くなっています。省力化ならびに合理化を追求する私達の技術開発は、間接的には地球温暖化の抑制に寄与していると信じております。これからは更に一歩進んだ温暖化抑制のための直接的な研究開発を進めたいと思います。

本年度は、我が社の新中期計画・ADV（アドバリュー）2008の中間年度に当たります。長期的には「強い現場力と高い企業競争力で持続可能な成長を続ける一流・先端企業」を目指します。そして、中期企業イメージとしては、「VALUE創造専門家集団」としてANDOBランドを高め続ける企業を掲げています。

ここで、「VALUE創造専門家集団」について改めて考えて見ます。技術研究所はこの専門家集団において常にトップを走ろうとしています。このことは、技術に関する知識を保有することは当然なことと思います。その上で、お客様に我々の技術力をご理解いただくことが大切です。与えられた課題に対して、合理的な解析や実験に基づくメカニズムの解明と解決を図ることに加えて、我々の解決策の合理性と判断の正しさをお客様に理解いただくことがANDOBランドを高める有力な方法です。技術の高さに謙虚さを加え、独善的になることなく、お客様の要求する品質を的確に把握することが大切です。真にお客様が必要とする技術を有し、有効に活用し、お客様と互いに理解を深めることが「VALUE創造専門家集団」の目標であることを再度確認したいと思います。

そして、社長が主導されるように所員全員が当事者意識と責任感を持ち、新中期計画・ADV（アドバリュー）2008の目標達成を期します。

技術研究所報は研究活動の情報発信源として、また、皆様方からいただきましたご指導へのお礼としてお届けしたいと思います。

皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

2007年 11月